

## 全てのセグメントが増収達成 過去最高のスポット収入に、ソフトライツ・アニメが続伸

売上高

**1,426**億  
7千9百万円  
(前年同期比 +4.7%)

営業利益

**63**億  
9千4百万円  
(前年同期比 -12.1%)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

**42**億  
8千6百万円  
(前年同期比 -8.9%)

1株当たり期末配当金

**25**円  
(年間配当40円)

総資産

**1,162**億  
7千5百万円

純資産  
(自己資本比率)

**784**億  
4千3百万円  
(65.4%)

### 1株当たり配当金

グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。  
1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。  
(2018年3月期配当予想)中間配当1株当たり15円 期末配当1株当たり25円

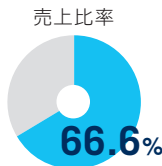
2018年3月期 業績予想

売上高 …………… 1,462億円  
(前年同期比+2.5%)

営業利益 …………… 55億円  
(前年同期比-13.2%)

## 地上波放送事業

■売上高	<b>1,124億3千3百万円</b> (前年同期比+4.7%)
■営業利益	<b>62億8千5百万円</b> (前年同期比+33.8%)



放送収入のうち番組を提供するタイムCM収入は、「リオ・オリンピック2016」による売上増や営業企画枠の再構築により増収となりました。また、番組の間に流れるスポットCM収入は、販促企画によるシェアアップなどにより増収となりました。

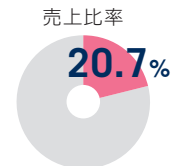
ソフトライツ収入は、テレビ放送に先行して「Amazon」で配信した深夜ドラマが収益に貢献したほか、人気シリーズ『孤独のグルメ』や『勇者ヨシヒコ』などの過去作品の国内、海外への配信セールスが大きく伸びました。

アニメ事業は、海外における『NARUTO』『BLEACH』などのライセンス収入が好調でした。

【連結子会社】(株)テレビ東京

## 放送周辺事業

■売上高	<b>348億8千8百万円</b> (前年同期比+1.8%)
■営業利益	<b>21億5千6百万円</b> (前年同期比+6.0%)



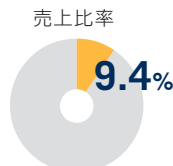
音楽出版関連は、『おそ松さん』『銀魂』をはじめとしたアニメ関連楽曲を中心に印税収入が順調に推移し、原盤出資アーティストである「井上苑子」のヒット曲も印税収入の底上げにつながりました。

CS放送関連では、アニメ専門チャンネル『AT-X』の加入者数は減少傾向でしたが、投資作品が好調でした。また、広告関連売上やライツ売上が想定を大きく上回りました。

【連結子会社】(株)テレビ東京ミュージック／(株)テレビ東京メディアネット／(株)テレビ東京コマース／(株)テレビ東京アート／(株)テレビ東京システム／(株)テレビ東京制作／(株)テレビ東京ダイレクト／(株)テレビ東京ヒューマン／(株)テクノマックス／(株)テレビ東京ビジネスサービス／(株)イー・ティー・エックス／TV TOKYO AMERICA, INC.

## BS放送事業

■売上高	<b>157億8千4百万円</b> (前年同期比+3.2%)
■営業利益	<b>12億6千万円</b> (前年同期比-13.2%)

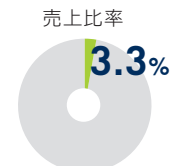


放送収入は、4月からスタートした一社提供のレギュラー番組などがタイムセールの底上げに貢献したほか、スポット収入も新規クライアントを開拓し好調でした。また、社屋移転を機に放送した特別番組のセールスも順調だったほか、SNSと連携した新ジャンルの番組開発にも取り組みました。

【連結子会社】(株)BSジャパン

## インターネット・モバイル事業

■売上高	<b>56億2千4百万円</b> (前年同期比+22.7%)
■営業利益	<b>4億円</b> (前年同期比+35.1%)



インターネット・モバイル事業では、動画配信関連及びクロスメディア広告の売上が好調だったほか、Eコマース事業やキャラクター事業、キャリアからのアプリサービス配分収入も順調に推移しました。特にWeb通販サイト「虎ノ門市場」は商品開発や販路拡大が奏功し過去最高売上を達成しました。

【連結子会社】(株)テレビ東京コミュニケーションズ